

荒川でちょっといいこと ゴミ拾い

SINCE 1994

荒川 Clean Aid News

あらかわクリーンエイドニュース

vol. 71
2013 春号

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム <http://www.cleanaid.jp/>

荒川クリーンエイド20周年！

始まりは、1994年

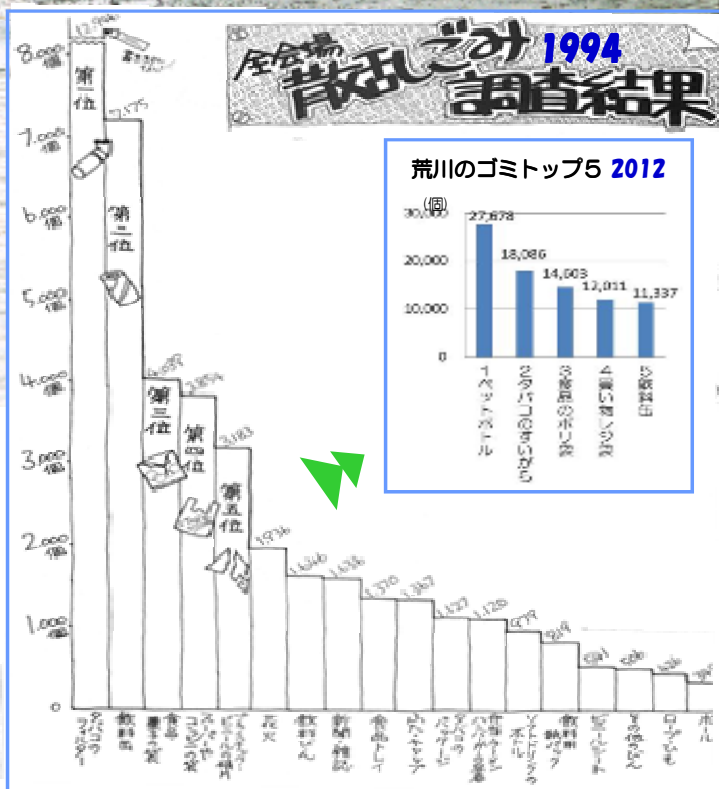
荒川クリーンエイドの始まりは1994年。荒川放水路の通水70周年を記念して、戸田市から江東区までの21会場で、2,642人が参加して実施されました。現在も参加いただいている(株)ダイエーさんをはじめ、企業さんが4社参加され、すでに【市民・学校・民間・行政の連携】が始まっていたことも注目されます。

【荒川クリーンエイド'94 参加団体】

- 市民団体 荒川かっぱ倶楽部、江戸川区民リサイクル連絡会、環境・国際研究会、吾嬭二中区青少年育成委員会、小さなごみ仲間、戸田の川を考える会
- 学校 都立北野高校定時制
- 企業 愛別ベニヤ工業(株)、ダイエーグループ、帝都高速度交通営団、凸版印刷
- 自治体 川口市、板橋区、足立区、荒川区、台東区、墨田区、葛飾区、江戸川区、江東区



※写真は、1996年JR総武線下流右岸(現在の下平井水辺の楽校)



20年前は、タバコのフィルター、次いで飲料缶が圧倒的な1・2位。20年間に、タバコは、マナーの向上などにより相対的に少なくなり、飲料缶は、ペットボトルの出現により、順位を下げました。食品・菓子の袋(現在の、食品のポリ袋)、スーパーやコンビニの袋(買い物レジ袋)などの包装類は、20年前から多いゴミです。

日頃から

荒川クリーンエイド、20年目に 「ゴミを調べながら拾う、学ぶ、減らす」原点へ

荒川クリーンエイドは、本年度20周年を迎えます。20年間、荒川の自然の回復と市民の環境保全意識の向上を目指し、ゴミを拾い、活動を支えてくださった会員・関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。

20年目を迎えるに当たり、荒川クリーンエイドの原点をもう一度見つめ直し、「ゴミを調べながら拾い、学び、そして日頃からゴミを減らす」運動をより充実させると共に、「調べるゴミ拾い」の全国での普及を目指していきたいと思えます。

参加者の「学び」をサポート

川ゴミの自然界への影響などを伝えるパンフレットの活用、社員研修などの機会を通じて、ゴミをできるだけ生まない生活について皆で考えるような、学びの機会を増やします。

河川敷利用者への啓発をスタート!

マラソン大会等と連携して河川敷利用者へのコミュニケーションの機会を作り、荒川のゴミの現状などを伝え、ゴミが捨てられない機運を共に作っていきます。

「調べるゴミ拾い」を全国へ

ゴミは荒川だけの問題ではありません。様々な河川から流れ

出るゴミが東京湾や世界の海の生態系を傷つけています。川ゴミ拾いのネットワークを本格的にスタートし、「ゴミを拾いながら学び、日頃から減らす」活動を全国に広げ、日本中の川ゴミが減るよう協働を進めます。

2013年度 主なスケジュール

- 5/18 定期総会
- 6/2を中心に 身近な水環境の全国一斉調査
- 6/15 SAVE JAPANプロジェクト (P4参照)
- 7/6 ARAKAWAクリーン 駅伝(共催)
- 8月 アユ遡上支援作戦(共催)
- 9/7・8 荒川源流エコツアー(秩父市)
- 9/14 荒川クリーンエイド実施説明会・体験会(足立区生涯学習センター)
- 10/20 秋のクリーンエイド体験会(下平井水辺の楽校)
- (2014年)
- 2月 報告・連絡会/20周年記念イベント
- 2月 荒川流域再生シンポジウム(共催)

荒川クリーンエイド2013 実施団体、参加者 募集中!

荒川クリーンエイド2013が始まっています。下記は、参加者募集中の会場です。個人・ご家族・グループなどでぜひご参加ください!また、団体・企業・グループなどで独自に開催いただくこともできますので、お気軽にお問い合わせください。

実施日	場 所	実施団体
5月18日 土	江戸川区 葛西海浜公園	西なぎさ発:東京里海エイド
5月18日 土	葛飾区 四ツ木橋上流(八広)	株式会社 エックスワン
5月25日 土	江戸川区 船堀橋上流(東大島駅側)	東京東江戸川ロータークラブ、東京東江戸川ローターアククラブ(要申込)
6月15日 土	葛飾区 四ツ木橋下流(四ツ木駅側)	荒川クリーンエイド・フォーラム(要申込)
6月15日 土	江戸川区 葛西海浜公園	西なぎさ発:東京里海エイド
6月23日 日	北区 赤羽岩淵水門周辺	ボーイスカウト東京連盟 城北地区 北第11団

※地図や時間など詳細な開催情報は、ホームページをご覧ください。

[荒川クリーンエイド 実施予定一覧](#)

[検索](#)

荒川のゴミのデータが 読売新聞に掲載 されました!

読売新聞4月17日の朝刊に、『荒川ゴミ ペットボトル最多』の見出しのもと、荒川クリーンエイドの活動と、ゴミの調査結果が紹介されました!

荒川クリーンエイド2012では、13,443人のボランティアが参加し、6,472袋のゴミが回収されたこと、そして、最も多かったゴミはペットボトル(27,678本)で、4年連続1位であったなどの調査結果が紹介されました。荒川のゴミの現状と取り組みについて多くの皆さんに知っていただく機会となりました。

荒川河川敷のゴミ拾い活動に取り組んでいる荒川クリーンエイド・フォーラムは、2012年に集めた6,472袋分のゴミの内訳を発表した。最も多かったのはペットボトルで全体の22%を占めた。

読売新聞に掲載されたのは、このデータです。

全体の22% ■ 2万7678本

荒川ゴミペットボトル最多

(イメージ)

活動レポート

小松川自然地・里川プロジェクト

国とアダプトを結んで

地域・学校・企業の皆さん2,318人と共に

東京都の新しい公共づくりモデル事業として取り組んだ小松川自然地・里川プロジェクト2012では、地域・学校・企業の皆さん2,318人に参加いただいて、外来種の除草、ヨシ刈り、生き物モニタリングなどの保全・管理活動を実施しました。ご参加、ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました！

アダプト導入へ

2012年度の大きな成果のひとつとして、この4月に当地へのアダプト制度の導入を果たしました。市民・民間が、国と連携して河川自然地の保全・管理を進める基礎として、アダプト制度の導入を国に要望し、実現したものです。

アダプト制度とは？

アダプト制度とは、道路、公園、河川などの公共財について、行政が市民や民間業者と定期的に美化活動等を行うよう契約する制度で、これまで自治体を中心に、主にゴミ拾いの分野で進められてきました。今回のように、国が管理する一級河川

で、また「自然地の維持管理」を目的とする導入は、非常に先駆的です。

皆で守り育てる、東京らしい里川

今後も、プロジェクトを推進する協議会の団体や、参加くださる地域・学校・企業の皆さんと共に、ゴミ拾い活動を中心に、外来種の除草、生き物調査、自然に親しむ活動などを行いながら、「東京らしい里川」の創造を目指していきます。

※クリーンエイド活動は、アダプト下でもこれまで通り行われます。



↑2012年10月
外来種の除草の様子

この春に立てられたアダプトサインボード↓



荒川クリーンエイドのフィールドから

毎号、はじめて荒川クリーンエイドを実施された企業や団体の皆さんに、活動の成果やご感想などをお寄せいただいています。今回は、秋のクリーンエイドに参加された株式会社資生堂さんの活動をご紹介します。

メーカーの視点から問題意識を持つ機会に

NEW 株式会社資生堂 山崎 功治 さん

昨年10月13日、さわやかな秋晴れのもと総勢123名で木根川橋球技場付近の清掃活動を行いました。今回は、資生堂が創業140周年を迎えるにあたり、これまで支えていただいた社会に対する感謝の気持ちを形にすべく全社で取組んだ「未来橋プロジェクト」の一環として、初めて参加させていただきました。

当日は、参加したメンバー全員が、大量のゴミに驚き

また、そのゴミの種類・比率が、まさに市場の鏡になっているとお話を伺い、「モノをつくり販売するメーカーの企業人」と「それを消費する生活者」の両方の視点から、改めて問題意識と当事者意識を持てる貴重な機会となりました。さらに、チーム対抗でゴミの量や粗大ゴミの大きさなどを競ったこともあり、全員が楽しみ盛り上がることができ、多くのゴミと大きな達成感を得ることもできました。その結果、荒川クリーンエイド・フォーラムさまから2012年の功労者賞をいただく栄誉を得たことも参加者一同にとって大きな喜びとなりました。

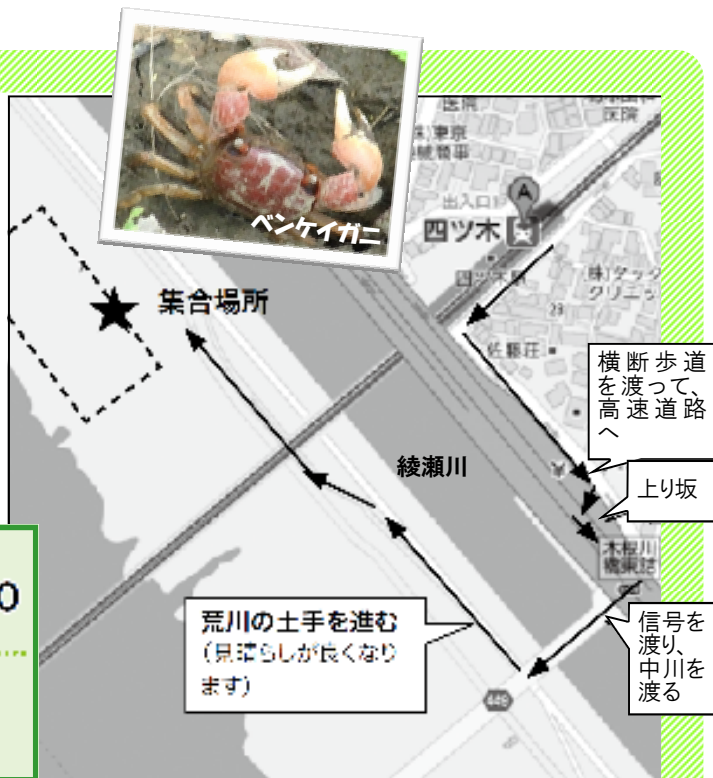
一方、キャプテンとしては、参加者同士が、童心に戻り一心不乱にゴミ拾いをするお互いの姿を見て、新たな一面を知り、相互理解と連帯感を高めることが出来たことも大変大きな成果だと思っています。今回の清掃活動を通して、荒川クリーンエイド・フォーラムさまや連携団体・機関の取り組みに大変共感しましたので、機会を見つけて今後も活動に参加させていただければと考えています。

我チームこそ特大ゴミを集めたぞ！とゴミの量や大きさを競いながら楽しんでたくさん回収してくださいました。2,338個のペットボトル回収数は、荒川クリーンエイド2012の中で最も多い個数となりました！ありがとうございました。
(荒川クリーンエイド事務局)



SAVE JAPANプロジェクト 参加者募集！ みんなで、荒川の生態系を守ろう！

荒川は、大都会の中でクロベンケイガニやオオヨシキリなどの生物が住み、自然を楽しめる貴重な場所として親しまれています。しかし、外来植物が生息域を拡大し、その生態系は危機に瀕しています。「みんなで、荒川の生態系を守ろう！」では、セイタカアワダチソウやオオブタクサなどの外来種を一掃してから、クリーンエイドも行って、生き物たちが住みやすい環境を取り戻しましょう。



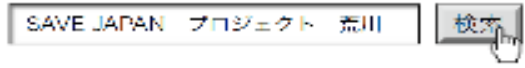
開催日 2013年 6月15日(土) 9:30 ~ 12:00
受付開始 9:15
※雨天の場合 6月22日(土)に延期。

申込締切 6月8日(土) 定員: 100名
※お名前でもお申し込みいただけますが、小学生以下は保護者同伴でお申し込みください。
※定員に達し次第、締め切りとなります。

- **場所** 葛飾区 新四ツ木橋下流・荒川河川敷 (京成押上線「四ツ木駅」より徒歩10分)
- **雨天の場合** 6月22日(土)に延期
- **参加費** 無料

NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム
〒132-0033 東京都江戸川区東小松川3-35-13-204
N | Cハイム船堀 (小松川市民ファーム内)
TEL: 03-3654-7240 / FAX: 03-3654-7256
Eメール: renraku@cleanaid.jp

- **申込み方法**
- ★ **WEB応募フォームから**
SAVE JAPANプロジェクトサイトの応募フォームから
http://savejapan-pj.net/sj2013/tokyo02/event/post_2.html



- ★ **メール・FAXから**
下記を明記のうえ、PCメールまたはFAXでお申し込みください。
①参加者全員の氏名、②連絡先住所・電話番号、
③(中学生以下は)学年

協働団体: 損保ジャパン 日本興亜損保 日本環境教育フォーラム

● 会員となり、応援ください！

荒川クリーンエイドは、会員の皆さまからの会費収入等により成り立っています。活動の主旨にご賛同いただける個人・団体の皆さまの継続・ご入会を心よりお待ちしております。

年会費 個人正 3,000円 / 団体正 10,000円 /
個人賛助 2,000円 / 団体賛助 8,000円

■ご入会以外にも、荒川クリーンエイドを応援いただく方法があります。様々な形での応援・ご参加をお待ちしています！

- 1 荒川クリーンエイドに参加する
- 2 facebookにいいね！する
- 3 メルマガ会員になる
- 4 会員になる
- 5 寄付・協賛する
- 6 ボランティアスタッフになる
- 7 できるだけゴミを出さない生活を実践する

※入会・寄付・参加等の詳細は、ホームページをご参照ください →



荒川クリーンエイド 応援してください

● ご寄付 (2013年1月~4月決定分)

皆さまのご支援に心より感謝申し上げます。
一般寄付 キューピー株式会社、株式会社丸井

荒川クリーンエイド ニュース vol. 71 2013春号

2013年5月10日発行

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム
〒132-0033 東京都江戸川区東小松川3-35-13-204
TEL 03-3654-7240 FAX 03-3654-7256
URL <http://www.cleanaid.jp/> E-mail renraku@cleanaid.jp